



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社 エノモト 上場取引所 東
 コード番号 6928 URL <http://www.enomoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 延公
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 伊藤 一恵 TEL 0554-62-5111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,443	4.1	689	△1.8	710	△1.9	666	△40.5
27年3月期第3四半期	13,868	4.7	701	582.0	723	354.4	1,119	915.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 479百万円 (△64.2%) 27年3月期第3四半期 1,338百万円 (79.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	43.51	—
27年3月期第3四半期	73.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	20,743	12,373	59.6	807.50
27年3月期	21,532	11,894	55.2	776.22

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 12,373百万円 27年3月期 11,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,700	△1.1	810	△22.9	850	△20.8	740	△37.8	48.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）ENOMOTO PRECISION ENGINEERING (S) Pte. Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	15,348,407株	27年3月期	15,348,407株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	25,584株	27年3月期	25,134株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	15,322,908株	27年3月期3Q	15,324,286株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成27年5月8日公表の連結業績予想の修正を、本日、平成28年2月5日に公表いたしました。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しなどによる景気回復軌道への緩やかな復帰は持続しているものの、個人消費の指標は未だに弱含みとなっており、生産活動は横ばいの情勢から脱せずにあります。

海外においては、アメリカ経済は住宅を含む個人消費について堅調な回復が続き、低迷を続けていた製造業でも小幅ながら増産の傾向が見られるなど、総じて堅調な回復を見せています。ヨーロッパ経済ではドイツが雇用面での良好な環境を背景とした堅調さを見せているほか、その他のユーロ圏各国やイギリスにおいても、総じて緩やかな景気回復基調にあります。中国経済においては、雇用状況の悪化から個人消費マインドの低下が顕著化し、設備投資についても減速感が色濃く、回復の目途が立たない状況です。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車の販売台数の回復は、当初の予測を下回る現況であり、自動車向け部品の受注は、当社の期待値には達しておりません。また、ハイエンドスマートフォン向けの部品については、2015年秋モデルが当初見込まれた出荷台数に届かず、低水準に留まっております。

このような状況下、当社グループは、徹底的な業務の見直しによる効率化と更なる技術の研鑽により、高付加価値製品の開発に積極的な投資を進めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は144億4千3百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。また、営業利益は6億8千9百万円（同1.8%減）、経常利益は7億1千万円（同1.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千6百万円（同40.5%減）となりましたが、これは連結子会社であったENOMOTO PRECISION ENGINEERING (S) Pte. Ltd.の所有していた固定資産の譲渡に伴い、前年同四半期において、固定資産売却益を特別利益として計上した影響によります。

製品群別の業績は、次のとおりであります。

① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車部品の電装化率の上昇により、受注が増加いたしました。その結果、当製品群の売上高は54億6千2百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

② オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。中国市場向けの大型ディスプレイ用部品の受注が、大幅に予測を下回りました。その結果、当製品群の売上高は21億4千2百万円（同26.0%減）となりました。

③ コネクタ用部品

当製品群は、スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。特に、ハイエンドスマートフォン向け部品が中心であります。販売規模は期待値に達しませんでした。その結果、当製品群の売上高は63億3千万円（同3.9%増）となりました。

④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は5億6百万円（同15.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期に比べ7億8千9百万円減少し、207億4千3百万円となりました。流動資産は、有利子負債の返済に伴う現預金の減少等により前期に比べ8億3千1百万円減少の93億2千8百万円となり、固定資産は、遊休不動産の売却及び退職給付信託の解約により減少したものの、有形固定資産の新規取得により増加したため、前期に比べ4千2百万円増加の114億1千5百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ12億6千7百万円減少し、83億7千万円となりました。これは主に仕入債務、有利子負債及び税金に係る未払の減少によるものです。

また、純資産は利益剰余金の増加により123億7千3百万円となりました。この結果、自己資本比率は、59.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,182,728	2,178,790
受取手形及び売掛金	4,256,675	4,289,453
商品及び製品	640,851	732,343
仕掛品	871,919	915,894
原材料及び貯蔵品	1,023,205	1,043,285
繰延税金資産	13,550	13,168
未収入金	133,883	103,472
その他	44,352	53,646
貸倒引当金	△7,610	△1,788
流動資産合計	10,159,555	9,328,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,834,764	8,549,814
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,055,892	△5,946,383
建物及び構築物(純額)	2,778,871	2,603,431
機械装置及び運搬具	12,696,278	12,658,012
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,408,335	△9,438,431
機械装置及び運搬具(純額)	3,287,943	3,219,581
工具、器具及び備品	3,399,499	3,373,940
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,128,094	△3,097,429
工具、器具及び備品(純額)	271,404	276,510
土地	3,298,323	3,265,258
建設仮勘定	49,385	565,773
有形固定資産合計	9,685,928	9,930,554
無形固定資産	115,662	104,900
投資その他の資産		
投資有価証券	815,353	836,831
退職給付に係る資産	579,053	350,057
繰延税金資産	22,146	21,523
その他	187,632	204,151
貸倒引当金	△32,700	△32,700
投資その他の資産合計	1,571,487	1,379,863
固定資産合計	11,373,078	11,415,318
資産合計	21,532,634	20,743,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,740,975	4,204,578
短期借入金	1,755,088	1,479,278
未払法人税等	187,137	112,055
賞与引当金	202,000	102,000
その他	858,997	833,281
流動負債合計	7,744,197	6,731,194
固定負債		
長期借入金	665,920	395,740
繰延税金負債	450,359	421,700
退職給付に係る負債	162,714	173,055
役員退職慰労引当金	117,776	112,876
その他	76,638	115,347
再評価に係る繰延税金負債	420,822	420,535
固定負債合計	1,894,231	1,639,255
負債合計	9,638,429	8,370,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149,472	4,149,472
資本剰余金	4,459,862	4,459,862
利益剰余金	2,250,279	2,917,561
自己株式	△9,720	△9,945
株主資本合計	10,849,894	11,516,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,754	112,918
土地再評価差額金	△181,237	△181,860
為替換算調整勘定	961,279	782,354
退職給付に係る調整累計額	159,514	142,771
その他の包括利益累計額合計	1,044,311	856,184
純資産合計	11,894,205	12,373,134
負債純資産合計	21,532,634	20,743,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	13,868,962	14,443,234
売上原価	11,871,820	12,373,227
売上総利益	1,997,142	2,070,006
販売費及び一般管理費	1,295,268	1,380,549
営業利益	701,873	689,456
営業外収益		
受取利息	14,644	5,982
受取配当金	5,137	6,090
受取賃貸料	51,350	51,507
受取保険金	19,410	—
為替差益	20,719	6,852
その他	5,213	11,484
営業外収益合計	116,476	81,917
営業外費用		
支払利息	35,607	25,243
債権売却損	12,744	13,793
租税公課	29,472	7,217
その他	16,532	14,594
営業外費用合計	94,356	60,849
経常利益	723,993	710,524
特別利益		
固定資産売却益	549,070	20,029
為替換算調整勘定取崩益	—	44,017
投資有価証券売却益	12,638	—
特別利益合計	561,708	64,046
特別損失		
固定資産売却損	13,820	2,325
固定資産除却損	14,204	7,238
特別損失合計	28,025	9,563
税金等調整前四半期純利益	1,257,677	765,008
法人税、住民税及び事業税	79,931	123,916
法人税等調整額	57,977	△25,566
法人税等合計	137,908	98,349
四半期純利益	1,119,768	666,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,119,768	666,659

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,119,768	666,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,588	8,164
為替換算調整勘定	194,747	△178,925
退職給付に係る調整額	2,082	△16,743
その他の包括利益合計	218,419	△187,504
四半期包括利益	1,338,187	479,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,338,187	479,154
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。